



2024年度 がん情報ギフト「結ぶ」事業 実施報告会
2024年11月20日

聖路加国際病院

「がんをよく知り 自分らしく生きる道を探す」講演会

聖路加国際病院 相談支援センター
橋本久美子

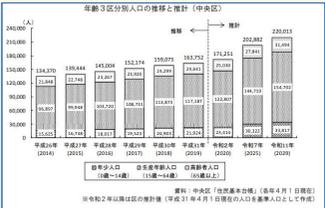


東京都中央区

中央区は、東京都区部の中央部に位置する特別区千代田区や港区とともに、東京の「都心3区」の一角

銀座、日本橋といった繁華街・商業地、オフィス街日本橋、京橋、八重洲などの中心業務地区が所在

臨海部を中心にマンションも多く、2023年1月1日時点の常住人口（住民登録数）は17万4074人で1953年以来70年ぶりに過去最多となった

資料：出典：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』
[%E4%B8%AD%E5%A4%AE%E5%8C%BA](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%AD%E5%A4%AE%E5%8C%BA)、[%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E9%83%BD](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E4%BA%AC%E9%83%BD)、2024/11/15

資料：中央区「住民基本台帳」（令和4年1月1日現在）
※令和2年以降は仮の集計値（平成31年4月1日現在の人口を基盤人口として作成）



京橋図書館 図書館情報	日本橋図書館 図書館情報	月島図書館 図書館情報	晴海図書館 図書館情報
本 37,378冊	本 13,778冊	本 16.1万冊	本 9万冊
CD・DVD 10,019タイトル	CD・DVD 11,065タイトル	CD・DVD 10,016タイトル	CD・DVD 1,067タイトル
雑誌 207種	雑誌 159種	雑誌 206種	雑誌 161種
電子書籍 40万種	電子書籍 1,877種	電子書籍 101種	電子書籍 200種

中央区立図書館と大学と病院



聖路加国際大学



聖路加国際病院

企画概要

- 図書館利用者が、がんに関する信頼できる情報を目にするこで、ヘルスリテラシーの向上を図る。
- がん相談支援センターと図書館と医療系大学が連携し、がんに関する講座を開催することにより、がんについて学ぶ機会を提供し、関心や理解を深め、がんになっても自分らしく過ごせるようにナビゲートする。

実施予定時期 2023年11月より2024年9月



京橋図書館・聖路加国際大学連携 健康講座第3弾

がんについてよく知り 自分らしく生きる道を探そう
第2回

2人に1人が、がんになる時代。がんは怖いだけでなく、がんになる前から正しい情報を得ることが大切です。

1. がんについて信頼できる情報を得よう
2. がんの原因・予防・検診を正しく知ろう
3. がんをよく知り、多様な生き方から自分を探す～希望の言葉とともに～

9月5日(木)

10代:2名、20代:3名、30代:2名、40代:7名、50代:19名、60代:9名、70代:9名

参加者 54名 (アンケート51名)

京橋図書館の利用頻度 週1回以上 9名、月に1回程度 7名、年に数回 9名、利用したことがない 26名

がん情報ギフト 今後利用してみたい 35名

がんの情報に関心がありますか 関心があり集めたことがある 29名、集め方がわからない 16名

参加された方の言葉 ~ 一部 抜粋 ~

- ・新しい情報も含めて、がんについての正しい情報、どのような点に気をつければよいかなど参考になりました
- ・がんは他人事ではないので参加できて本当によかったです
- ・がんのリスク評価 医師のレクチャーが参考になりました
- ・希望の言葉とても温かい気持ちになりました
- ・住んでいる近くの図書館にはない企画、中央区 素晴らしい
- ・聖路加大学、病院とのコラボ、今後もこうした企画行ってほしい
- ・私も本を書きたくなりました
- ・身内にがんになった人間はありませんが興味をもち始めました。
- ・がんを体験された方の話は説得力があります。
- ・人への言葉について、普段何気なく発している言葉は、どんな言葉か改めて考えることができた。
- 言葉というのは、素敵なモノになるのだと気づくことができました。家族にも伝えようと思います。
- ・年金、終活、生き甲斐に関する企画をお願いします

アンケートBOXに寄せられた思い

病気がわかってすぐ手術の日が決まり、あまり知識がなかったうちに、精神的な負担が大きく、勉強する気になれなかった。

病気になる前から「がん」について広く知っておくべきだったと思いました。

病気になるまで、なったら死んでしまう病気だと思っていましたし、今や2人に1人がなる病気だと知りませんでした。

長々と失礼しました。

情報ギフトの取り組みに感銘を受け思わず書いてしまいました。

自分のように後悔する方が1人でもいなくなったらいいなと願うばかりです。

30代 女性

本企画が「がん情報ギフト」や「信頼できるがん情報」の提供に貢献できること

1. 公共図書館は、子供から大人まで幅広い世代の人が利用しており、身近な日常の中に「がん情報ギフト」という信頼できるがん情報があることで、がんについて正しく知ることに結びつく。
2. 図書館には、がん以外のさまざまな分野の本があり、がんについての情報を得るだけでなく、思考や気持ちを切り替えたり、探求心が芽生えたり、心が豊かになったり、自分探しにつながったり、サポートティブケアとなることが期待できる。
3. 病院(がん相談支援センター)と地域の図書館と大学がつながることにより、互いの強みを活かして、地域で暮らす人たちに、がんになる前から、治療後の療養について実証的な情報を届けられる。
4. 市民が困った時に、適切な情報や相談できる場所がわかり、主体的に行動できるようになる。
5. 大学、図書館、郵便局、薬局と病院との協働企画も実現したい

2025年度 がん情報ギフト講演 開催継続 決定

2025年9月10日 夕方開催予定
場所：本のもりちゅうおう



このようなご縁をいただきましたこと、心より感謝申し上げます